

JR連合 政策News

第245号

2013年11月29日

第57回JR連合国会議員懇談会を開催

高速道路料金問題、JR北海道問題を 国会議員懇談会で議論！

国土交通省道路局から高速道路料金問題で概要説明を受ける

JR連合は、11月27日朝、衆議院第二議員会館において、第57回国会議員懇談会を開催した。

懇談会には、高木義明会長（衆）、榛葉賀津也副会長、三日月大造事務局長小川淳也事務局長次長、広田一幹事ら国会議員と秘書5名、JR連合、JR単組代表者が参加し、高速道路料金問題、JR北海道問題で討議を行うとともに取り組み方針の意思統一を行った。



高木会長は「交通政策基本法案は、衆議院において、労働者の意見を反映した付帯決議が採択された。本日、参議院で審議されるが、これまでのJR連合の取り組みに感謝する。併せて、高速道路料金問題をはじめとした政策課題の解決やJR北海道の安全確立に向けて議員懇談会として全力で取り組んでいきたい」と力強く挨拶をおこなった。

JR連合を代表して松岡会長は、「JR北海道に関する国会での集中審議が行われている。労働組合として、安全最優先の風通しのよい企業風土を作り上げるための取り組みを行っていきたい。また、本日はJR7社に影響を及ぼす高速道路料金問題に関しての集中的な議論をお願いしたい。引き続き関係議員との連携を取りながら対応していきたい」と述べた。

議事では、高速道路料金問題に関して、国土交通省道路局から「国土幹線道路部会の審議状況及び中間答申」と題して、高速道路の維持更新の取り組み、料金制度のあり方、料金割引と財源などの詳細な説明を受けた。その後、意見交換を行い、「消費税増税対策として、高速道路料金割引に税金を活用することは、他輸送機関との競争バランス上、不公平ではないか」「早急にJRやフェリーなど交通機関への支援を求める行動が必要」との指摘が出された。

続いて、JR北海道問題について議論を行った。国会で行われている集中審議の内容報告、JR北労組の代表者から「JR北海道再生プラン」の概要説明をそれぞれ受けた後に、安全確立に向けた取り組みについて様々な視点から意見交換を行った。委員からは、安全を最優先した企業風土の確立を図るとともに風通しのよい社風の樹立や再生プランの実現に向けて、労使協議や関係機関等への働きかけを求める意見が相次いだ。

以上